

2008年 月 日

Sample 株式会社 御中

三井物産クレジットコンサルティング株式会社

貴社売上債権の格付ポートフォリオ分析結果のこと

掲題に関し以下の通りご報告申し上げます。

記

1. 分析対象売上債権

貴社からお預かり致しました2007年3月末現在の売上債権リストを集計したところ、債権社数(無格付先=NR先含む)として、500社、5,503,565千円となりました。当該売上債権リストに対して、2007年月 日現在の弊社最新データを基に、格付ポートフォリオ分析を実施致しました。

2. 格付ポートフォリオ分析結果

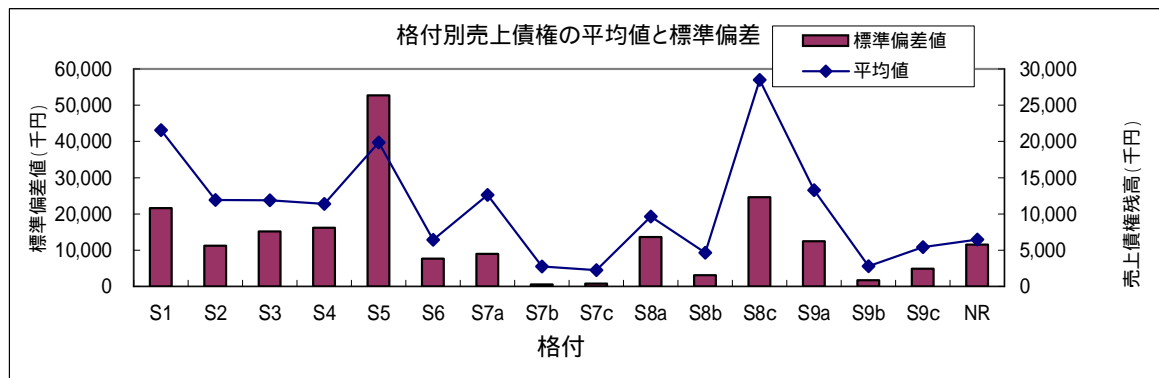
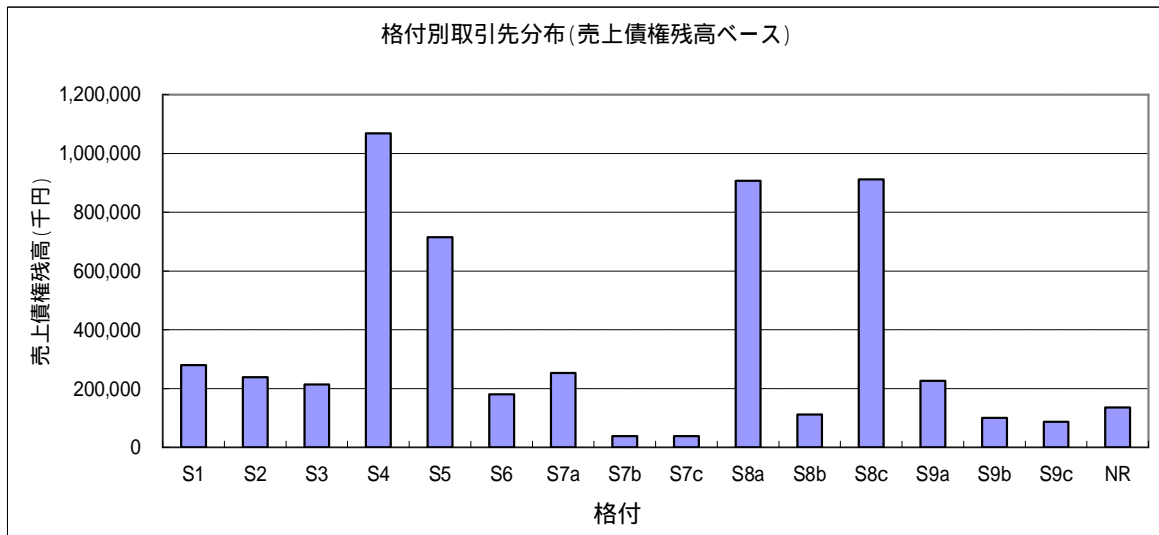
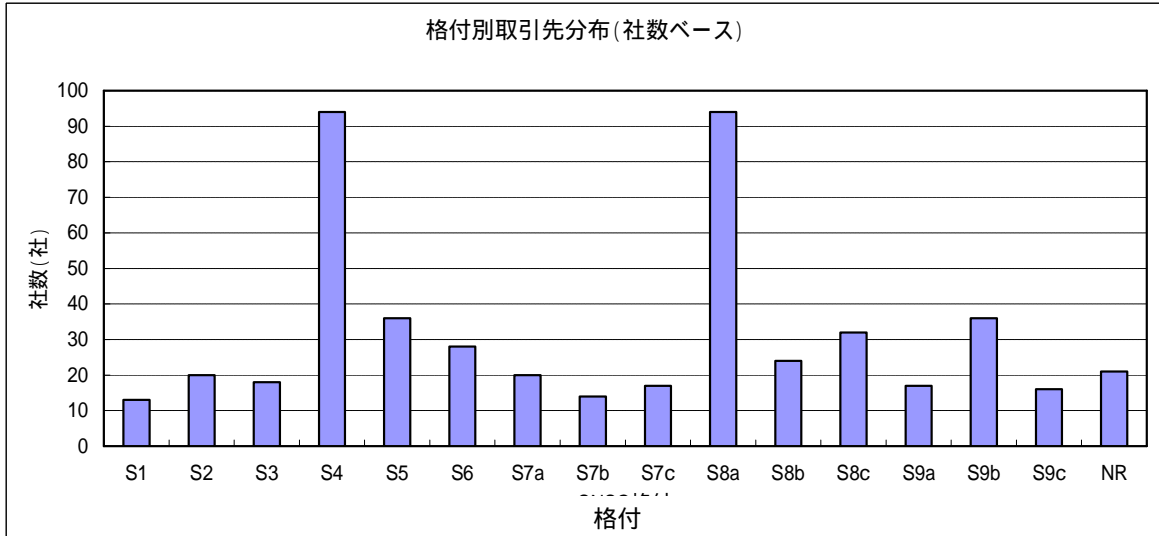
(金額単位:千円)

格付	社数ベース		売上債権残高ベース		平均貸倒損失		標準偏差	平均値
	合計(社)	構成比率	合計	構成比率	合計	損失率		
S1	13	2.60%	280,060	5.08%	0	0.00%	21,569.45	21,543.08
S2	20	4.00%	238,441	4.33%	119	0.05%	11,198.89	11,922.05
S3	18	3.60%	214,205	3.89%	578	0.27%	15,158.18	11,900.30
S4	94	18.80%	1,068,124	19.41%	8,438	0.79%	16,213.29	11,363.02
S5	36	7.20%	715,395	13.00%	10,445	1.46%	52,691.88	19,872.09
S6	28	5.60%	179,996	3.27%	3,906	0.17%	7,652.51	6,428.44
S7a	20	4.00%	252,749	4.58%	7,001	0.77%	8,974.08	12,637.47
S7b	14	2.80%	38,567	0.70%	1,068	0.77%	519.05	2,754.79
S7c	17	3.40%	38,197	0.69%	1,058	0.77%	804.33	2,246.89
S8a	94	18.80%	906,734	16.48%	37,448	0.43%	13,616.21	9,646.10
S8b	24	4.80%	111,248	2.02%	4,595	0.43%	3,075.33	4,635.33
S8c	32	6.40%	911,726	16.57%	37,654	0.43%	24,617.15	28,491.45
S9a	17	3.40%	225,835	4.10%	12,421	0.50%	12,426.15	13,284.42
S9b	36	7.20%	100,477	1.83%	5,526	0.50%	1,737.07	2,791.08
S9c	16	3.20%	86,414	1.57%	4,753	0.50%	4,840.48	5,400.89
NR	21	4.20%	135,395	2.46%	7,447	0.50%	11,518.43	6,447.37
合計	500	100.00%	5,503,565	100.00%	142,458	0.59%	-	-
NR除外計	479	95.80%	5,368,170	97.54%	135,011	0.52%	-	-

<http://www.mitsui-credit.com>

CONFIDENTIAL

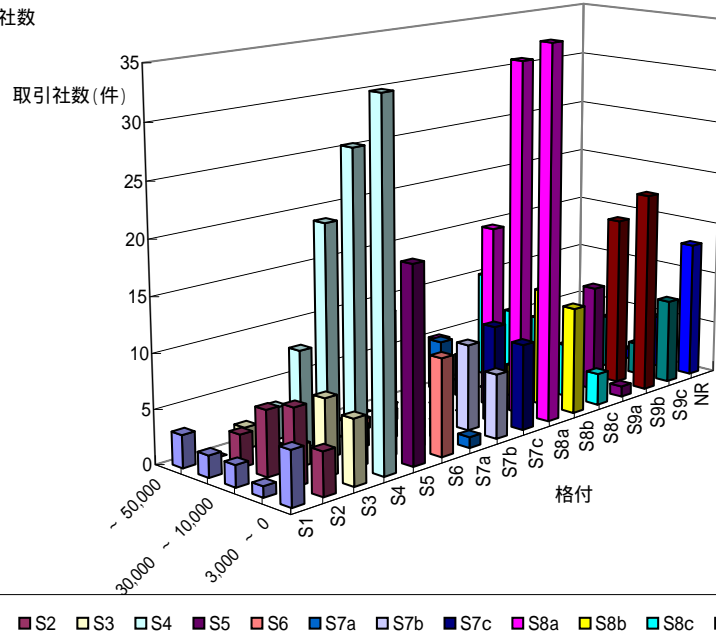
「本資料は三井物産クレジットコンサルティング株式会社の営業秘密に該当します。本資料の無断開示、無断複製を禁じます。」



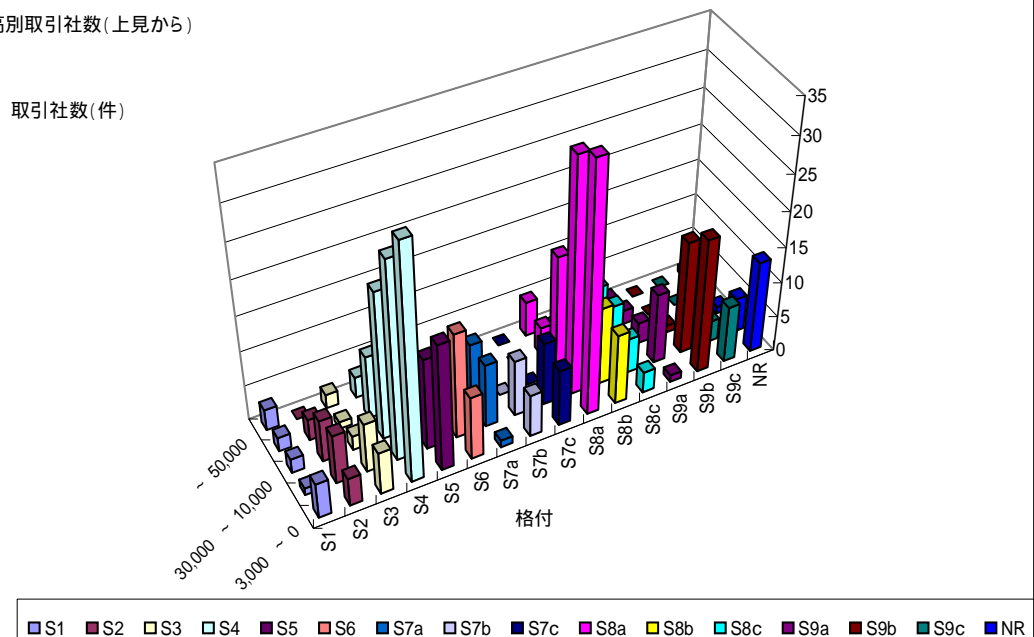
(単位:件)

売上債権残高	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7a	S7b	S7c	S8a	S8b	S8c	S9a	S9b	S9c	NR	合計
50,000 ~	3	0	2	3	3	0	0	0	0	5	0	10	1	0	0	1	28
30,000 ~ 50,000	2	3	1	9	0	1	1	0	0	4	0	7	2	0	0	1	31
10,000 ~ 30,000	2	6	2	21	2	3	9	0	0	17	3	7	3	1	5	1	82
3,000 ~ 10,000	1	7	7	28	13	15	9	8	9	33	11	5	10	16	3	5	180
0 ~ 3,000	5	4	6	33	18	9	1	6	8	35	10	3	1	19	8	13	179
合計	13	20	18	94	36	28	20	14	17	94	24	32	17	36	16	21	500

格付別・売上債権残高別取引社数



格付別・売上債権残高別取引社数(上見から)

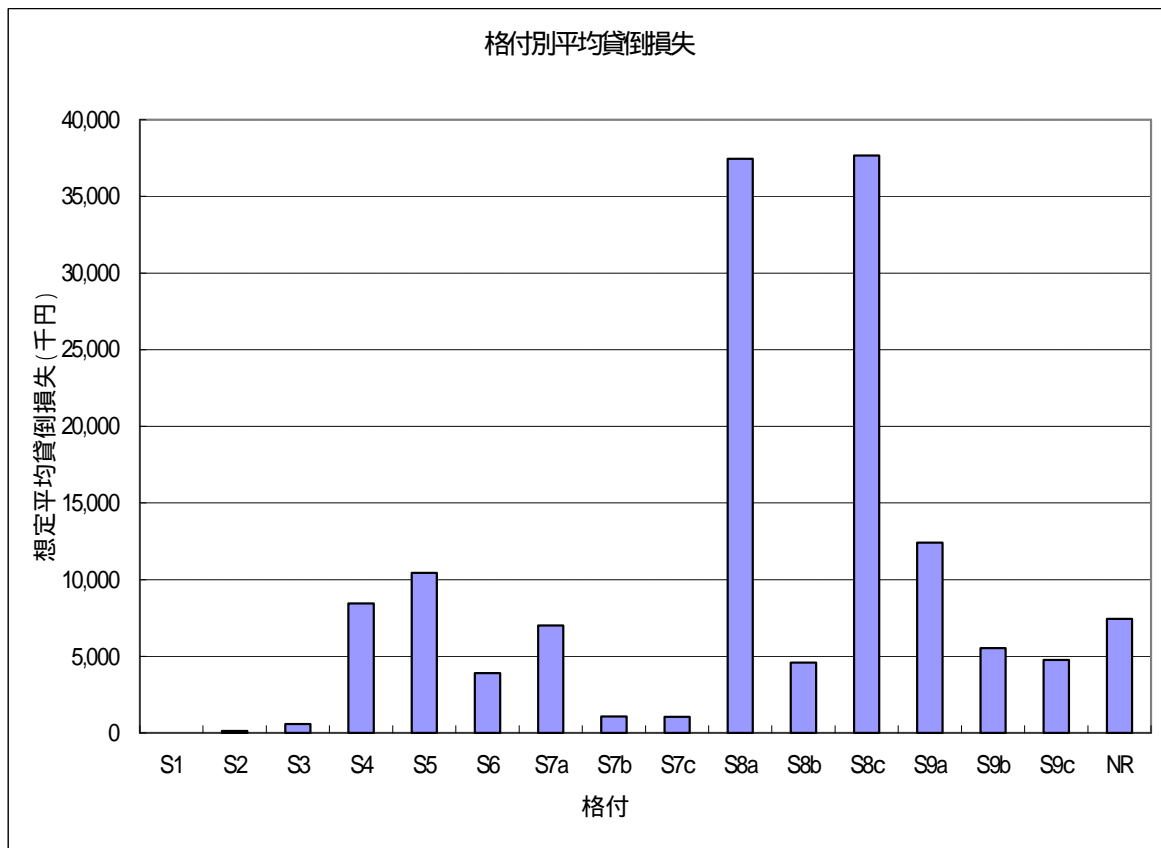


貴社債権分布状況について

- 社数分布としては、S4、S8a先が多くなっています。
 格付S8は「警戒先」に区分されるため、お取引先としては十分な管理が必要な水準です。
 格付S9cは「問題先」の区分であり、財務リスクが高い企業群のため、十分な管理と注意が必要となります。
- 売上債権残高は、格付S4及びS8a、S8cが多くなっています。
 格付S4先は「標準先」の最上位区分ですので大きな問題はありませんが、S8a先への債権残高集中は懸念です。
 但し、S8a先については債権残高も大きいもの、お取引社数も多くことから1社当たりの債権額は比較的小さいので、その意味でのリスク分散はなされているものと思われます。
 S8c先につきましては、お取引先数と比べ、債権残高が大きく、集中化傾向の可能性があり、十分な注意が必要です。
- 格付S5先の標準偏差値が他の格付先と比べると高くなっています。
 売上債権額が多額取引先と少額取引先との債権額の差が大きく、適正与信金額の超過先に重点管理が必要です。
- 総評
 現在のところ、貴社の売上債権に占める平均貸倒損失額は貴社の自己資本の範囲内にありますが、お取引先数に占めるS8aを中心とした低格付層が比較的多い結果となっています。
 同格付帯については、適正与信金額も小さいことから特にその超過先については重点的な管理が必要です。
 また、債権全体としては適度な分散がなされていますが、1社当たり相対的に大きな売上債権を計上している先も十分な管理が必要です。

3. 格付別平均貸倒損失

貴社の売上債権に対して、格付毎の倒産確率を乗じて算出しております。



4. 適正与信金額ロジック適用結果

貴社より頂いたヒアリングシートを基に作成した与信判断ロジックを適用しております。
 与信判断ロジック

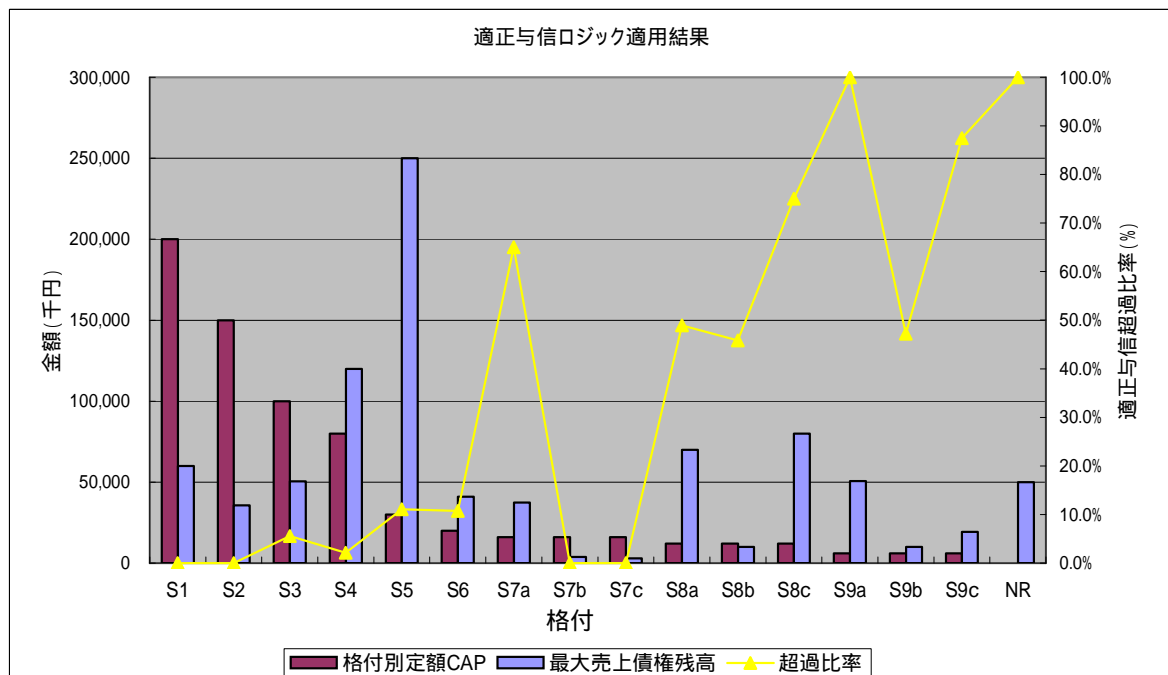
(金額単位: 千円)

格付	一律金額	格付別定額CAP	実質自己資本掛目(倍)
S1	100,000	200,000	0.20
S2	70,000	150,000	0.20
S3	50,000	100,000	0.17
S4	30,000	80,000	0.15
S5	20,000	30,000	0.12
S6	10,000	20,000	0.12
S7a	8,000	16,000	0.10
S7b	8,000	16,000	0.10
S7c	8,000	16,000	0.10
S8a	4,000	12,000	0.10
S8b	4,000	12,000	0.10
S8c	4,000	12,000	0.10
S9a	2,000	6,000	0.10
S9b	2,000	6,000	0.10
S9c	2,000	6,000	0.10
NR	0	0	0.00

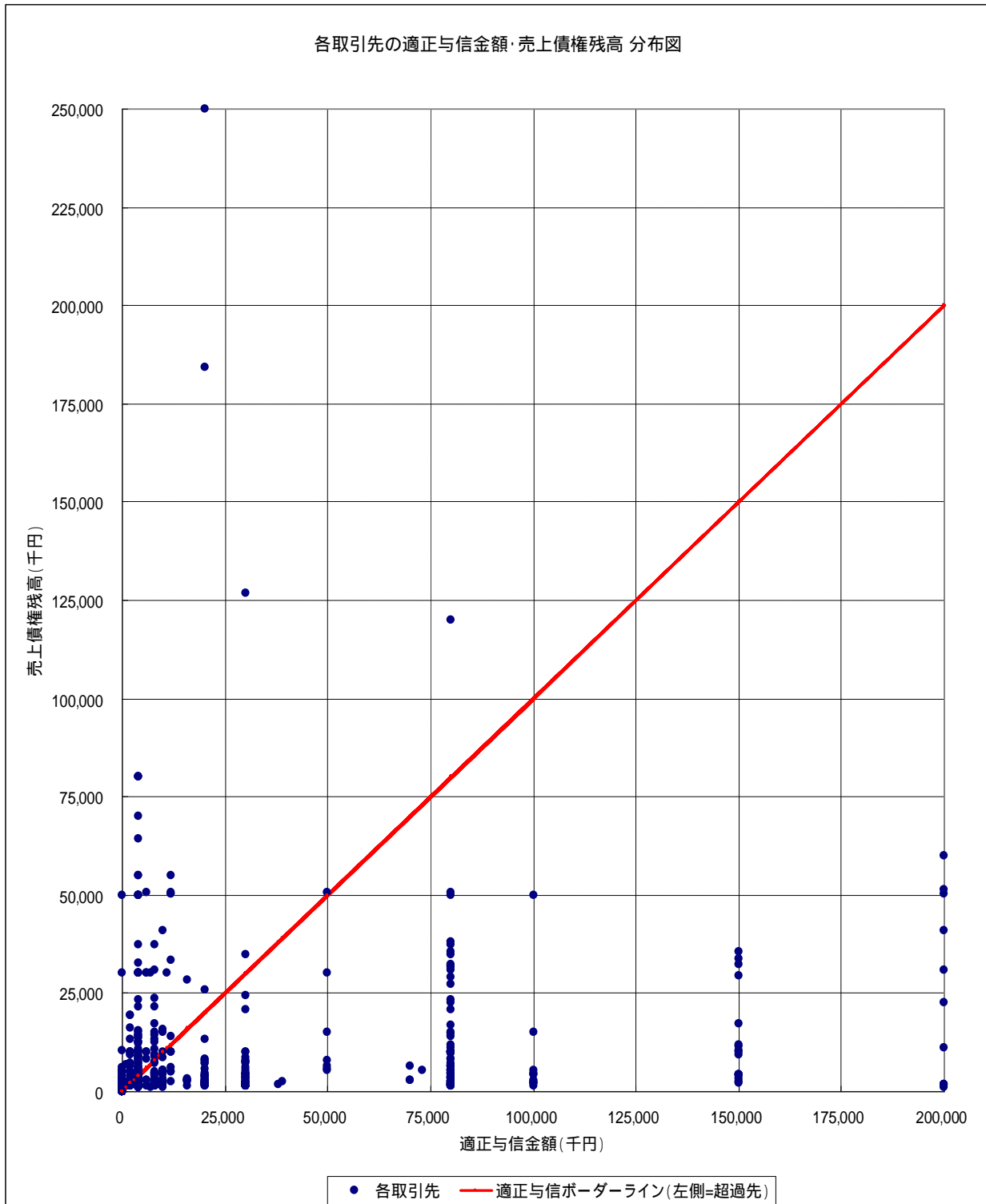
適用結果

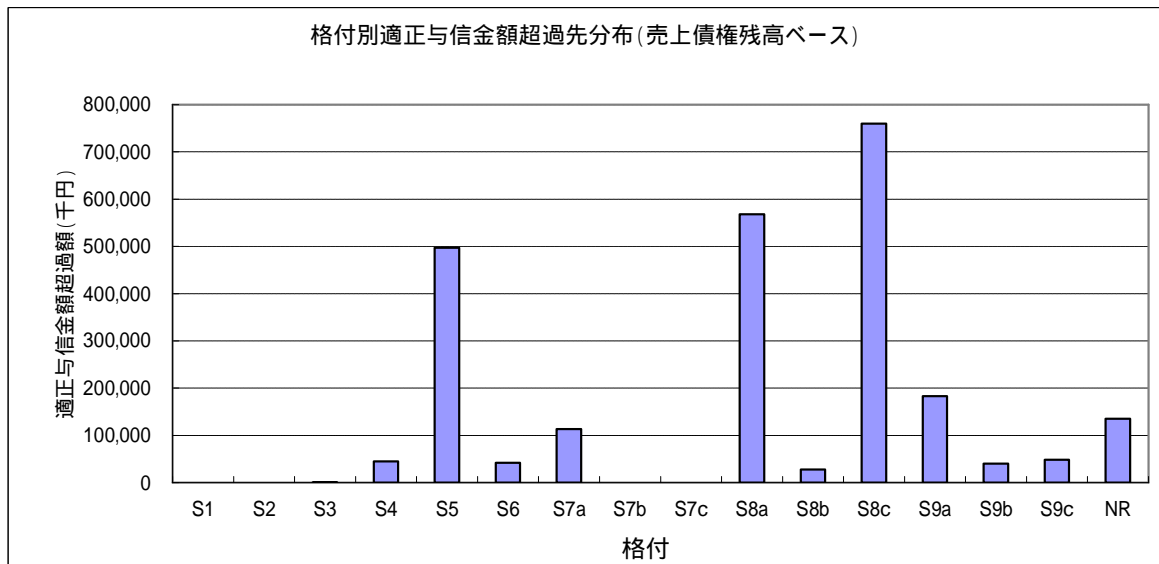
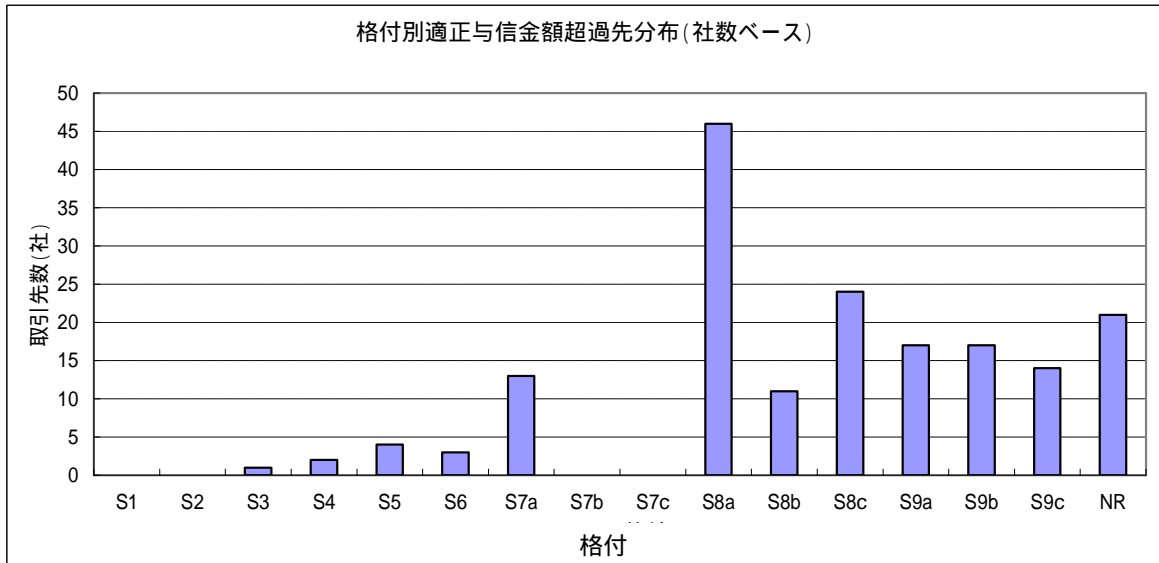
(金額単位: 千円)

対象債権	合計額	平均貸倒損失	平均貸倒損失率
売上債権残高	5,503,565	142,458	2.6%
適正与信金額	15,272,000	125,193	0.8%
適正与信超過	2,459,701	90,007	3.7%



各取引先の適正与信金額・売上債権残高 分布図





適正与信金額

適正与信金額は、貴社の売上債権に内包するリスク量およびその分布状況を加味し、弊社よりご推奨する格付毎の与信限度額です。上記グラフの適正与信ボーダーラインを超過するお取引先につきましては、過度なリスクを負っていないか特に注意して管理して頂くべきお取引先となります。

貴社の限りある時間・リソースを有効に活用するためには、取引に内包するリスク量の大きい先等を中心に管理する必要がありますが、適正与信金額を利用することによって客観的かつ合理的な濃淡管理が可能となります。

以上